

6月の中小企業月次景況調査

〔令和8年6月末現在〕



全国中小企業団体中央会
National Federation of Small Business Associations

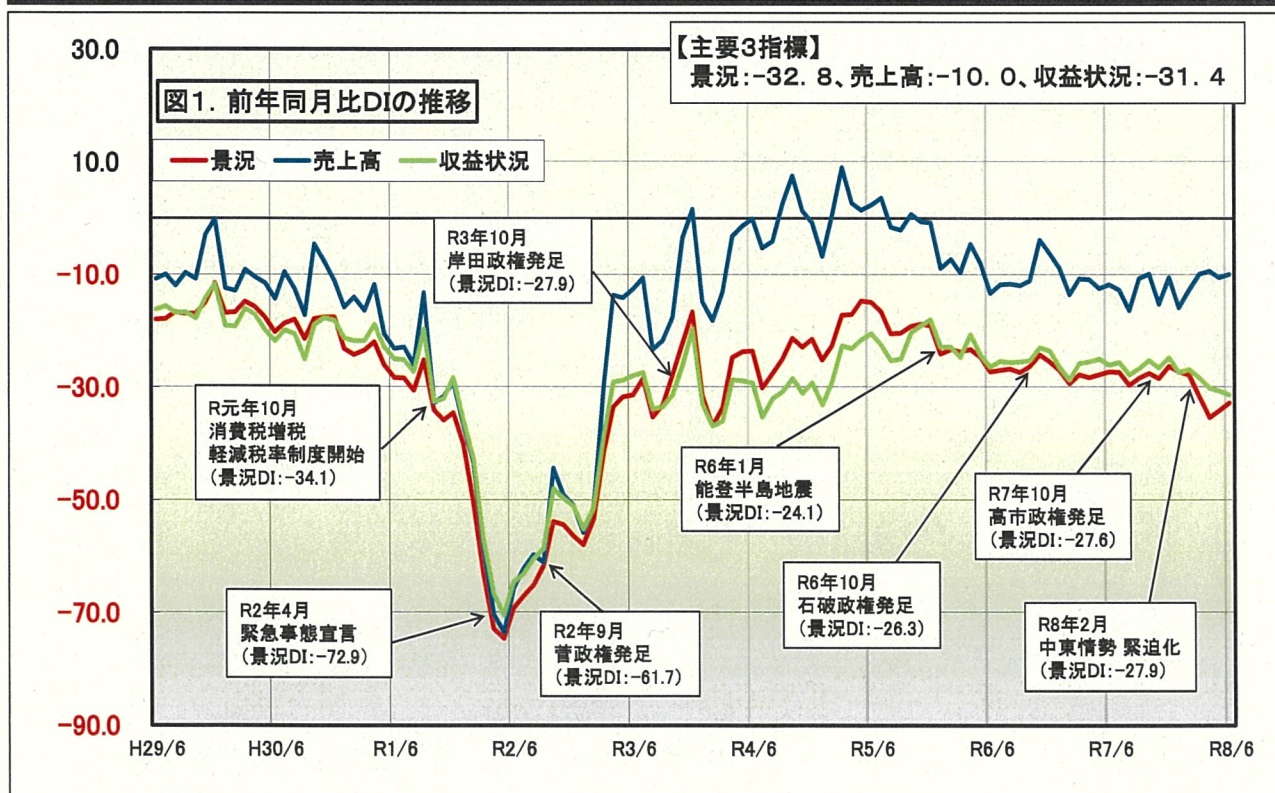
令和8年7月27日発表

◎6月の景況DIは中東情勢の緊張緩和期待により小幅改善となった

○製造業では、一部の製品を除いて、流通の目詰まりと資材不足の懸念が解消されつつあり、中東情勢に落ち着きが見られたことから、景況感は概ね中東緊迫化以前の水準まで改善となった。一方で、石油関連製品の価格は引き続き高止まりしており、価格転嫁の難航による悪影響が懸念されている。

○非製造業においても、中東情勢が落ち着くことへの期待と物価高対策により、景況感は概ね横ばいとなった。

○製造業、非製造業ともに、物価上昇に対する価格転嫁に苦慮する声が多数寄せられており、景況感は先行き不透明な状況となっている。



※DIとは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、好転 (増加・上昇) したとする割合から、悪化 (減少・低下) したとする割合を差し引いた値です。

本調査は、都道府県中央会に設置されている情報連絡員〔中小企業の組合 (協同組合、商工組合等) の役職員約2,420名に委嘱〕による調査結果です。
調査の対象は、情報連絡員が所属する組合の組合員の全体的な景況 (前年同月比) です。

(本発表資料のお問い合わせ先)

全国中小企業団体中央会

担当: 政策推進部

TEL 03-3523-4902

<https://www.chuokai.or.jp>

6月の調査結果のD I 概況

【指標D I の動向とポイント】

1. 中東緊迫化以前からの原材料・エネルギー価格の上昇、人件費の増加、人手不足の深刻化に加え、中東影響による資材調達難と一層の価格高騰が発生している。
当面、厳しい経営環境が継続することが予想されるため、景況感は一進一退での推移が見込まれる。
2. 業種により差異はあるものの、価格転嫁は徐々に進展しており、売上高D I は堅調に推移している。一方で、収益状況D I は低下しており、コスト上昇分を十分に価格転嫁出来ていない状況が伺える。

全指標の前年同月比D I の推移（直近1年間）

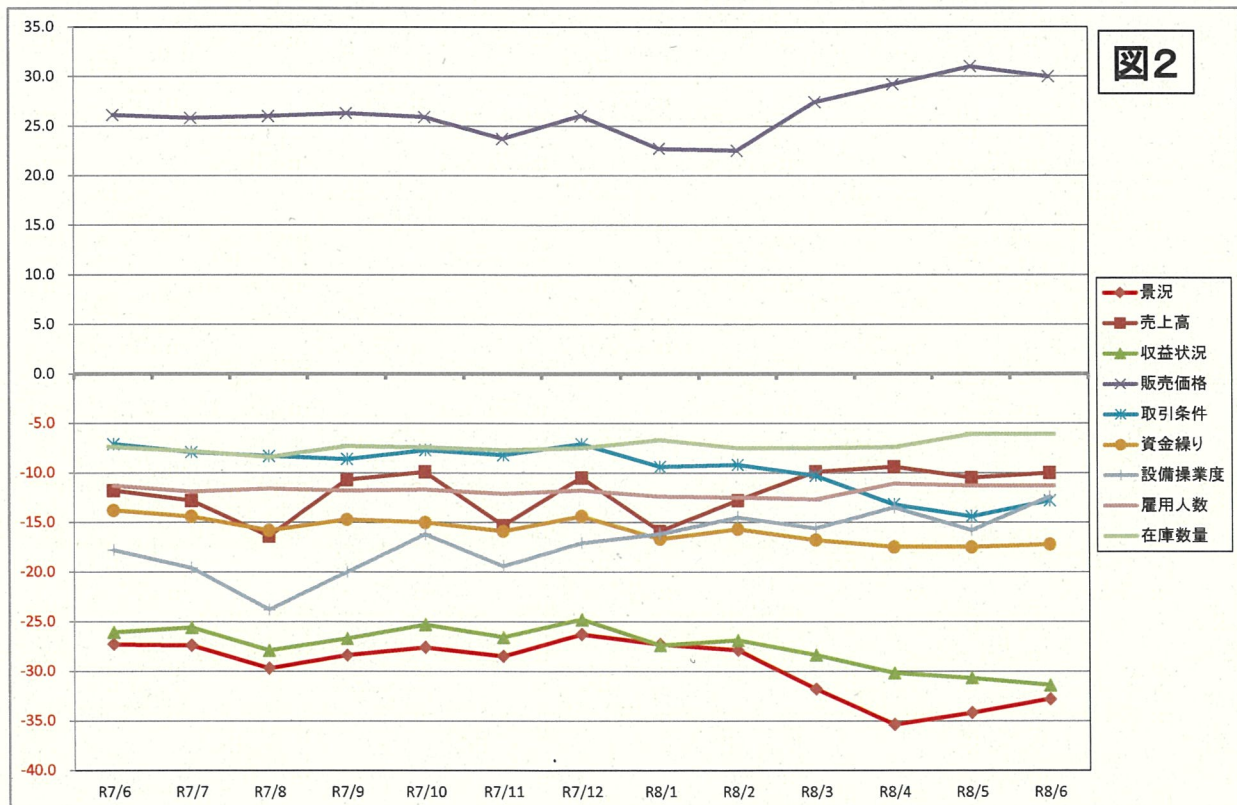


表1	R7 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R8 1月	2月	3月	4月	5月	6月	前月比
景 況	-27.3	-27.4	-29.7	-28.4	-27.6	-28.5	-26.3	-27.3	-27.9	-31.8	-35.4	-34.2	-32.8	1.4
売 上 高	-11.8	-12.8	-16.4	-10.7	-9.9	-15.3	-10.5	-15.9	-12.8	-9.9	-9.4	-10.5	-10.0	0.5
収益状況	-26.1	-25.6	-27.9	-26.7	-25.3	-26.6	-24.8	-27.4	-26.9	-28.4	-30.2	-30.7	-31.4	-0.7
販売価格	26.1	25.8	26.0	26.3	25.9	23.7	26.0	22.7	22.5	27.4	29.2	31.0	30.0	-1.0
取引条件	-7.1	-7.9	-8.3	-8.6	-7.7	-8.2	-7.1	-9.4	-9.2	-10.3	-13.2	-14.4	-12.8	1.6
資金繰り	-13.8	-14.4	-15.8	-14.7	-15.0	-15.9	-14.4	-16.7	-15.7	-16.8	-17.5	-17.5	-17.2	0.3
設備操業度	-17.8	-19.6	-23.8	-20.0	-16.2	-19.4	-17.1	-16.2	-14.5	-15.6	-13.5	-15.8	-12.4	3.4
雇用人員	-11.3	-11.9	-11.6	-11.8	-11.7	-12.1	-11.8	-12.4	-12.5	-12.7	-11.1	-11.3	-11.3	0.0
在庫数量	-7.4	-7.8	-8.4	-7.3	-7.4	-7.7	-7.5	-6.7	-7.5	-7.5	-7.4	-6.1	-6.1	0.0

【情報連絡員報告から総括する景況調査のPOINT】

流通の目詰まりについては、一部の製品を除き、徐々に改善しているとの声が増加している。一方で、中東影響による資材価格の上昇、及び従前からの物価上昇に伴う仕入価格上昇に対して、価格転嫁に苦慮する声が増加しており、収益への一層の悪影響が懸念されている。

《主な報告内容》

◇中東情勢による経営への悪影響に関する事業者の声

- ・中東情勢悪化の影響で包装資材の価格が大きく上がっている。数量の不足はないものの、納期が延びている。また、ガスや重油の燃料費も上昇している。価格転嫁を進めているが、仕入価格の上昇に追いついていない。(長崎/食料品)
- ・和装、広幅織物ともに、石油由来の原材料や関連工程の加工料金の値上がりで経営を圧迫している。また、価格転嫁にも苦慮している。(群馬/繊維)
- ・中東情勢に伴い石油化学製品の原料価格が上昇しており、販売価格への転嫁を急いでいるが、価格に反映されるまでに時間差があり、経営への影響は大きい。(広島/化学・ゴム)
- ・中東問題を原因とした原材料・燃料・副資材の仕入価格の急上昇により、利益を大幅に圧迫している。価格転嫁のルールがあるものの、全額を転嫁するまでは期間を要する。(東京/鉄鋼・金属)
- ・中東情勢による商品仕入価格の高騰により、顧客への価格改定案内がスムーズに行えない状況である。商品の販売数量も制限がかかっている。(徳島/卸売)
- ・円安とナフサ不足で、包装資材が値上げしている。労働条件の変化への対応による人件費の増加、輸入商品の値上げに関連して、国内商品も高値推移しているため、値上げが追いつかない状況である。(栃木/小売)
- ・原材料価格の高騰が続いているほか、中東情勢の影響により、ラップなどの包装資材の供給にも影響が生じている。卸売業者はその都度価格改定を実施している一方で、飲食店では価格転嫁が容易ではなく、利益確保が難しい状況にある。(福井/サービス)
- ・中東情勢の影響による一部商材の調達難が経営を圧迫している。また、商材価格の急激な上昇により、顧客が採用を見送るケースも増加しており、売上機会の減少につながっている。(大阪/建設)
- ・ナフサショックにより物流資材が入手しづらくなっていると同時に価格も高騰している。また、石油製品の出荷数の減少により輸送量が減っている企業もある。これらの影響で収益悪化の状況が見られる。(福島/運輸)

◇価格転嫁に苦慮する事業者の声

- ・主原料である令和7年産米価格が大幅に高騰したほか、円安や原油高の影響による包装資材、輸送費、人件費等の高騰が続く中、原材料費高騰分を十分に価格転嫁できていない蔵元も多く、売上及び収益減少に伴う更なる業績悪化への懸念は依然として残っている。(宮城/食料品)
- ・原料、燃料、包装資材などの価格改定が継続しており、価格上昇幅も大きいことから、コスト負担が一段と増加している。このため、自社製造品に加え仕入商品の販売価格についても再度の価格改定が必要な状況となっている。(秋田/食料品)
- ・LPガスの仕入価格、配送費、人件費等が高止まりしており、組合員各社の収益を圧迫している。販売価格への転嫁を進めているものの、消費者負担への配慮から十分な転嫁は難しい状況。(栃木・小売)
- ・原材料の仕入価格は4月に値上げになったものが、更に7月にも値上げとなるものもあり、販売価格の上昇が追いつかず、収益面では厳しい状況が続いている。(神奈川/木材・木製品)
- ・物価や光熱費、人件費の高騰により宿泊施設のコストは大幅に上昇している。一方で価格競争や需要動向を考慮すると宿泊料金への十分な価格転嫁は難しい状況が続いている。今後は適正な価格設定に加え、さらなる経費削減やサービス向上への取組が必要となる。(山梨/サービス)
- ・売上は横ばいで推移しているものの、材料費の高騰により収益が圧迫されている。しかし、急な価格転嫁は難しく、組合員の中には収益が減少している事業者も見受けられる。(大阪/建設)

※ 後述の「Pick up!」ならびに「情報連絡員からの報告(要旨)」等も参照。

1. 景 況

	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 34.2	▲ 32.8	1.4	上昇	↗
製造業	▲ 37.4	▲ 33.6	3.8	上昇	↗
非製造業	▲ 31.9	▲ 32.1	▲ 0.2	悪化	↘
DIが大きく上昇した業種	10ポイント超	化学・ゴム、一般機器、その他の製造業			
	5～10ポイント	鉄鋼・金属、運輸業			
DIが大きく悪化した業種	10ポイント超	紙・紙加工品			
	5～10ポイント	なし			

表2. 業種別【景 況】DIの推移（前年同月比）

業 種 名	7/6	7/7	7/8	7/9	7/10	7/11	7/12	8/1	8/2	8/3	8/4	8/5	8/6	前月比
全 体	-27.3	-27.4	-29.7	-28.4	-27.6	-28.5	-26.3	-27.3	-27.9	-31.8	-35.4	-34.2	-32.8	1.4
製 造 業	-33.9	-34.5	-36.6	-34.5	-34.1	-35.3	-32.6	-31.8	-30.3	-33.9	-36.3	-37.4	-33.6	3.8
食 料 品	-27.8	-24.4	-29.9	-26.4	-27.1	-29.7	-26.8	-31.8	-31.8	-32.1	-38.3	-38.1	-38.6	-0.5
織 維 工 業	-38.2	-38.2	-47.7	-46.4	-45.0	-46.4	-41.6	-42.7	-41.6	-45.5	-45.8	-47.2	-42.6	4.6
木 材 ・ 木 製 品	-47.3	-50.0	-47.4	-46.4	-45.6	-44.8	-41.8	-39.4	-39.2	-41.6	-50.9	-52.6	-49.5	3.1
紙 ・ 紙 加 工 品	-16.7	-34.8	-41.7	-52.2	-45.9	-48.0	-54.5	-43.5	-40.9	-52.2	-47.9	-43.5	-59.1	-15.6
印 刷	-45.8	-50.9	-50.0	-37.3	-43.1	-41.4	-40.7	-46.6	-34.5	-42.1	-48.3	-50.0	-50.9	-0.9
化 学 ・ ゴ ム	-22.2	-17.9	-16.6	-14.3	-17.8	-10.4	-17.8	-7.1	-10.7	-28.6	-18.5	-29.6	-18.5	11.1
窯 業 ・ 土 石 製 品	-43.4	-37.1	-33.8	-35.0	-33.1	-35.8	-38.5	-38.1	-36.7	-42.4	-42.0	-45.1	-41.2	3.9
鉄 鋼 ・ 金 属	-29.4	-35.1	-37.7	-35.1	-38.1	-39.0	-32.6	-28.8	-25.2	-30.3	-23.8	-23.7	-16.9	6.8
一 般 機 器	-31.8	-31.2	-36.2	-31.0	-28.5	-26.7	-24.8	-23.8	-20.0	-20.0	-28.0	-27.6	-15.3	12.3
電 気 機 器	-10.7	-7.4	0.0	-18.5	-14.8	-18.5	-11.1	-3.7	0.0	0.0	-11.5	-3.7	0.0	3.7
輸 送 機 器	-22.7	-23.8	-23.1	-18.2	-11.4	-11.3	0.0	4.5	-9.1	-7.0	-2.6	-7.6	-10.2	-2.6
その他の製造業	-31.4	-42.0	-39.6	-40.0	-38.0	-50.0	-42.9	-37.3	-32.0	-40.0	-40.0	-43.7	-32.6	11.1
非 製 造 業	-22.3	-22.0	-24.6	-23.7	-22.6	-23.2	-21.4	-23.6	-26.0	-30.1	-34.8	-31.9	-32.1	-0.2
卸 売 業	-27.5	-26.7	-24.6	-26.0	-23.5	-27.7	-26.1	-24.4	-29.3	-28.7	-35.5	-30.2	-29.2	1.0
小 売 業	-31.1	-30.6	-33.1	-34.8	-34.0	-35.3	-33.1	-34.7	-37.1	-41.0	-43.0	-36.2	-40.0	-3.8
商 店 街	-33.1	-35.3	-37.4	-36.9	-34.8	-30.2	-23.4	-33.6	-31.7	-31.0	-37.9	-28.3	-31.2	-2.9
サ ー ビ ス 業	-9.6	-7.0	-10.0	-9.4	-5.8	-8.7	-8.5	-15.5	-13.4	-15.1	-19.7	-19.2	-19.3	-0.1
建 設 業	-16.3	-17.1	-22.5	-18.3	-19.7	-18.3	-20.0	-18.2	-24.5	-27.3	-37.7	-38.2	-37.0	1.2
運 輸 業	-22.2	-22.0	-24.8	-20.0	-23.5	-20.0	-17.9	-14.7	-21.6	-42.6	-41.6	-45.8	-39.4	6.4
その他の非製造業	0.0	-3.3	-13.3	-10.4	-6.9	-16.6	0.0	-6.7	-6.6	-24.2	-19.4	-25.8	-25.0	0.8

Pick up!

「一般機器」：資材調達不安の改善に加え、工作機械関連、半導体製造装置関連の受注が堅調に推移しており、景況DIは前月比12.3ポイントの上昇となった。売上高DIについても36.9ポイントの上昇、収益状況DIも10.1ポイント上昇し、主要3指標ともに上昇となった。

「紙・紙加工品」：中東情勢影響、及び円安進行による材料価格上昇に加え、更なる価格転嫁に対する不安もあり、景況DIは前月比▲15.6ポイントと大幅な低下となった。売上高DIは12.4ポイント上昇したものの、収益状況DIは▲1.2ポイントとなっており、売上高増加が収益改善に繋がらない状況が伺える。

2. 売上高

	前月	当月	増減	傾向
全体	▲ 10.5	▲ 10.0	0.5	上昇 ↗
製造業	▲ 15.2	▲ 7.7	7.5	上昇 ↗
非製造業	▲ 6.8	▲ 11.6	▲ 4.8	悪化 ↘
DIが大きく上昇した業種	10ポイント超	木材・木製品、紙・紙加工品、化学・ゴム、鉄鋼・金属、一般機器、その他の製造業		
	5～10ポイント	繊維工業、窯業・土石製品、電気機器、建設業、その他の非製造業		
DIが大きく悪化した業種	10ポイント超	サービス業		
	5～10ポイント	食料品、印刷、小売業、商店街		

表3. 業種別【売上高】DIの推移（前年同月比）

業 種 名	7/6	7/7	7/8	7/9	7/10	7/11	7/12	8/1	8/2	8/3	8/4	8/5	8/6	前月比
全 体	-11.8	-12.8	-16.4	-10.7	-9.9	-15.3	-10.5	-15.9	-12.8	-9.9	-9.4	-10.5	-10.0	0.5
製 造 業	-17.0	-18.3	-25.3	-15.1	-14.2	-21.8	-18.2	-18.4	-14.0	-12.7	-7.6	-15.2	-7.7	7.5
食 料 品	-8.6	-8.1	-11.7	-9.2	-1.5	-4.5	-10.8	-15.4	-11.1	-16.1	-3.5	-3.9	-13.9	-10.0
繊 維 工 業	-26.4	-20.0	-33.3	-22.7	-29.7	-36.3	-24.8	-30.9	-25.7	-24.1	-20.5	-24.5	-19.4	5.1
木 材 ・ 木 製 品	-25.0	-36.9	-47.4	-30.7	-26.3	-25.8	-33.1	-35.1	-28.7	-23.9	-33.9	-43.9	-26.5	17.4
紙 ・ 紙 加 工 品	4.2	8.7	-33.4	13.0	-41.7	-32.0	-40.9	-30.5	-9.1	-26.1	-13.1	-26.1	-13.7	12.4
印 刷	-23.7	-38.6	-43.1	-20.3	-27.6	-31.0	-32.2	-24.2	-15.6	-17.6	-22.5	-25.9	-33.3	-7.4
化 学 ・ ゴ ム	3.7	-14.3	12.5	17.8	21.4	-3.5	14.3	17.8	0.0	-3.6	14.8	0.0	18.5	18.5
窯 業 ・ 土 石 製 品	-35.3	-20.8	-20.2	-20.4	-10.3	-27.7	-30.4	-32.8	-26.4	-25.5	-13.0	-24.8	-16.1	8.7
鉄 鋼 ・ 金 属	-9.3	-13.0	-30.8	-21.3	-10.7	-29.7	-15.9	-18.2	-11.5	-10.6	1.5	-2.2	8.1	10.3
一 般 機 器	-24.1	-18.8	-24.5	-12.7	-29.5	-21.0	-11.5	-10.5	-4.8	-1.0	4.0	-16.4	20.5	36.9
電 気 機 器	21.4	0.0	7.7	7.4	3.7	-14.8	7.4	3.7	7.4	25.9	3.9	25.9	33.3	7.4
輸 送 機 器	-2.3	-11.9	-25.7	0.0	15.9	-4.5	11.6	22.7	9.1	23.2	23.1	7.7	7.7	0.0
そ の 他 の 製 造 業	-21.6	-36.0	-39.6	-24.0	-22.0	-42.0	-26.6	-13.7	-14.0	-12.0	-14.0	-33.4	-20.4	13.0
非 製 造 業	-8.0	-8.5	-9.6	-7.3	-6.7	-10.3	-4.6	-13.9	-11.9	-7.8	-10.8	-6.8	-11.6	-4.8
卸 売 業	-9.3	-8.4	-6.7	2.5	-2.5	-15.3	-6.4	-4.5	-6.4	1.0	0.0	9.1	13.7	4.6
小 売 業	-20.1	-12.6	-22.8	-17.6	-18.7	-24.1	-21.8	-33.5	-29.7	-24.4	-26.5	-15.2	-24.7	-9.5
商 店 街	-12.9	-26.3	-17.2	-21.0	-17.7	-18.9	5.1	-21.5	-19.8	-5.0	-14.5	-4.4	-14.4	-10.0
サ ー ビ ス 業	11.9	3.7	15.5	4.7	11.9	14.1	8.5	-2.5	6.2	3.6	5.7	10.3	-5.4	-15.7
建 設 業	-13.3	-14.9	-20.0	-13.1	-13.3	-14.0	-7.9	-13.4	-18.4	-13.0	-22.1	-24.5	-19.5	5.0
運 輸 業	-6.1	7.0	-13.2	0.8	-1.5	-10.0	-0.8	-0.8	3.1	-0.7	-6.2	-20.6	-18.2	2.4
そ の 他 の 非 製 造 業	6.7	0.0	16.6	6.9	6.9	16.7	30.0	3.4	0.0	-3.4	12.9	-6.4	0.0	6.4

Pick up!

「木材・木製品」：価格転嫁が徐々に進行していることにより、売上高DIは前月比17.4ポイントの上昇となった。更なる価格上昇を見越した駆け込み需要との声も聞かれるが、景況DIは前月比3.1ポイント、収益状況DIは前月比2.4ポイントの上昇となり、小幅ながら主要3指標ともに上昇となった。

「印刷」：中東情勢による石油関連原材料価格の高騰に加え、従前からの需要の減少もあり、引き続き先行き不透明な状況となっている。売上高DIは前月比▲7.4ポイントの低下となった。景況DIは概ね横ばい、収益状況DIは前月比9.4ポイントの上昇となったが大変厳しい経営環境が続いている。

3. 収益状況

	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 30.7	▲ 31.4	▲ 0.7	悪化	↘
製造業	▲ 33.6	▲ 31.2	2.4	上昇	↗
非製造業	▲ 28.4	▲ 31.4	▲ 3.0	悪化	↘
DIが大きく上昇した業種	10ポイント超	化学・ゴム、一般機器、その他の非製造業			
	5～10ポイント	印刷、窯業・土石製品、鉄鋼・金属			
DIが大きく悪化した業種	10ポイント超	なし			
	5～10ポイント	食料品、小売業、サービス業			

表4. 業種別【収益状況】DIの推移（前年同月比）

業 種 名	7/6	7/7	7/8	7/9	7/10	7/11	7/12	8/1	8/2	8/3	8/4	8/5	8/6	前月比
全 体	-26.1	-25.6	-27.9	-26.7	-25.3	-26.6	-24.8	-27.4	-26.9	-28.4	-30.2	-30.7	-31.4	-0.7
製 造 業	-30.2	-31.0	-33.0	-31.7	-28.8	-31.0	-29.3	-29.3	-27.9	-28.4	-30.6	-33.6	-31.2	2.4
食 料 品	-32.3	-31.6	-29.4	-31.0	-27.7	-25.7	-30.4	-33.8	-29.3	-36.1	-39.8	-36.7	-42.5	-5.8
繊 維 工 業	-33.7	-30.9	-36.0	-40.0	-39.6	-43.7	-35.4	-38.1	-31.9	-36.6	-33.7	-39.6	-42.6	-3.0
木 材 ・ 木 製 品	-31.3	-37.7	-43.1	-42.1	-30.7	-30.2	-34.7	-41.3	-34.8	-33.6	-36.7	-39.5	-37.1	2.4
紙 ・ 紙 加 工 品	0.0	-13.0	-41.7	-34.8	-37.5	-40.0	-36.4	-34.8	-18.2	-17.4	-8.7	-26.1	-27.3	-1.2
印 刷	-45.7	-45.6	-48.3	-33.9	-46.6	-39.7	-44.0	-41.4	-39.7	-36.9	-48.3	-63.8	-54.4	9.4
化 学 ・ ゴ ム	-22.2	-17.8	-20.8	-14.3	-7.2	-6.9	-10.7	7.1	-10.7	-17.9	-3.7	-37.0	-25.9	11.1
窯 業 ・ 土 石 製 品	-34.6	-28.9	-32.3	-31.4	-24.2	-32.1	-30.4	-32.1	-33.9	-33.6	-30.6	-39.1	-32.0	7.1
鉄 鋼 ・ 金 属	-27.1	-32.1	-35.4	-31.3	-28.2	-31.3	-25.0	-24.2	-24.4	-23.5	-23.2	-20.7	-14.7	6.0
一 般 機 器	-25.0	-26.5	-26.4	-25.2	-29.5	-32.3	-20.0	-20.0	-23.8	-18.1	-29.0	-27.5	-17.4	10.1
電 気 機 器	-3.6	-22.2	7.7	-7.4	0.0	-22.2	-11.1	0.0	0.0	7.4	-15.4	3.7	7.4	3.7
輸 送 機 器	-25.0	-23.9	-23.1	-20.5	-9.1	-18.1	-14.0	-6.8	-6.8	-11.7	-5.1	-7.7	-5.1	2.6
そ の 他 の 製 造 業	-37.3	-36.0	-37.7	-38.0	-38.0	-36.0	-38.8	-29.5	-34.0	-22.0	-28.0	-33.4	-36.8	-3.4
非 製 造 業	-22.9	-21.5	-24.0	-22.8	-22.5	-23.0	-21.3	-25.9	-26.1	-28.4	-30.0	-28.4	-31.4	-3.0
卸 売 業	-25.2	-22.3	-20.0	-22.5	-17.5	-22.8	-23.6	-16.5	-23.8	-22.7	-21.5	-21.1	-21.7	-0.6
小 売 業	-33.6	-26.8	-33.1	-31.0	-36.5	-36.5	-36.9	-40.7	-40.2	-38.7	-40.1	-34.0	-41.9	-7.9
商 店 街	-29.4	-34.0	-39.3	-34.4	-29.1	-27.0	-16.4	-37.4	-32.3	-28.5	-36.1	-31.4	-33.8	-2.4
サ ー ビ ス 業	-11.8	-10.3	-9.4	-13.0	-7.2	-7.9	-9.9	-20.5	-14.5	-18.7	-17.5	-15.3	-23.9	-8.6
建 設 業	-22.4	-22.6	-22.9	-20.5	-24.9	-26.0	-26.1	-25.6	-28.7	-28.5	-34.6	-35.1	-34.0	1.1
運 輸 業	-13.8	-16.6	-27.1	-18.4	-19.5	-19.2	-7.8	-11.0	-12.3	-34.9	-36.2	-39.7	-35.7	4.0
そ の 他 の 非 製 造 業	-6.7	-10.0	0.0	-6.9	-10.4	3.3	6.6	10.0	-3.3	-17.3	-3.2	-25.8	-9.4	16.4

Pick up!

「鉄鋼・金属」：引き続き半導体関連、自動車関連において堅調な動きが見られていることに加え、中東情勢緩和による不安の解消もあり、収益状況DIは前月比6.0ポイントの上昇となった。景況DIについても前月比6.8ポイントの上昇、売上高DIについても前月比10.3ポイント上昇し、主要3指標ともに上昇となった。

「食料品」：仕入価格の上昇に対して、価格転嫁が難航しているとの声が多数寄せられており、収益状況DIは前月比▲5.8ポイントとなった。景況DIは前月比横ばいとなったが、売上高DIは買い控えによる消費低迷への懸念から、前月比▲10.0ポイントとなった。

4. 資金繰り、販売価格、取引条件、設備操業度、雇用人員、在庫数量

(1) 資金繰り	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 17.5	▲ 17.2	0.3	上昇	↗
製造業	▲ 18.3	▲ 15.6	2.7	上昇	↗
非製造業	▲ 16.9	▲ 18.4	▲ 1.5	悪化	↘
(2) 販売価格	前月	当月	増減	傾向	
全体	31.0	30.0	▲ 1.0	悪化	↘
製造業	28.7	30.1	1.4	上昇	↗
非製造業	32.8	30.0	▲ 2.8	悪化	↘
(3) 取引条件	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 14.4	▲ 12.8	1.6	上昇	↗
製造業	▲ 8.7	▲ 6.4	2.3	上昇	↗
非製造業	▲ 18.7	▲ 17.5	1.2	上昇	↗
(4) 設備操業度	前月	当月	増減	傾向	
製造業	▲ 15.8	▲ 12.4	3.4	上昇	↗
(5) 雇用人員	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 11.3	▲ 11.3	0.0	不変	→
製造業	▲ 12.4	▲ 11.8	0.6	上昇	↗
非製造業	▲ 10.3	▲ 10.9	▲ 0.6	悪化	↘
(6) 在庫数量	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 6.1	▲ 6.1	0.0	不変	→
製造業	▲ 4.3	▲ 3.1	1.2	上昇	↗
非製造業	▲ 8.7	▲ 10.8	▲ 2.1	悪化	↘

Calendar 2026

～～ 国内外の主なトピックス（令和8年7月）～～

7月7日（火）	毎月勤労統計調査（速報、従業員5人以上の事業所）：厚生労働省 物価の変動を加味した働き手1人当たりの5月の実質賃金は、前年同月比1.4%増で5カ月連続のプラスとなった。春闘の効果などで名目賃金が伸びたことに加え、物価上昇率が鈍化し、実質賃金のプラスを維持した。実質賃金のプラス定着には高水準の賃上げを、どれだけ労働組合のない中小企業に波及させられるかが問われる。
7月8日（水）	国際収支統計（速報）：財務省 5月の国際収支は、物品・サービスの取引や投資収益の状況を示す経常収支が3兆9683億円の黒字となった。黒字は16カ月連続で、黒字幅は前年同期より6478億円拡大した。半導体・電子部品や自動車、非鉄金属の輸出が増え、貿易収支が黒字に転換したことが主な要因。
7月8日（水）	景気ウォッチャー調査（街角景気）：内閣府 街角の景気感を示す現状判断指数（DI）が季節調整値で44.0と前月を0.4ポイント上回り、2カ月連続で上昇した。基調判断は、「景気は、中東情勢によるマインド面の下押しを中心に影響が残るものの、持ち直しの兆しがみられる」と上方修正した。基調判断の引き上げは2025年10月以来8カ月振り。先行きについては、「中東情勢による不透明感緩和への期待がみられる。」とされた。

表5. 主要指標の業種別 D I(前年同月比)

(令和8年6月末現在)

	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	設備操業度	雇用人員	在庫数量
全 体	-32.8	-10.0	-31.4	30.0	-12.8	-17.2	-12.4	-11.3	-6.1
製 造 業	-33.6	-7.7	-31.2	30.1	-6.4	-15.6	-12.4	-11.8	-3.1
非 製 造 業	-32.1	-11.6	-31.4	30.0	-17.5	-18.4		-10.9	-10.8

(製 造 業)

業 種 名	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	設備操業度	雇用人員	在庫数量
食 料 品	-38.6	-13.9	-42.5	39.6	-10.4	-20.8	-10.9	-10.4	3.0
繊 維 工 業	-42.6	-19.4	-42.6	20.4	-13.9	-22.2	-13.9	-14.8	-12.0
木 材・木 製 品	-49.5	-26.5	-37.1	17.7	-9.7	-19.5	-17.7	-11.5	-1.8
紙・紙加工品	-59.1	-13.7	-27.3	59.1	-4.6	0.0	-27.3	-22.7	-18.2
印 刷	-50.9	-33.3	-54.4	28.1	-12.2	-22.8	-38.6	-26.3	-5.2
化 学・ゴ ム	-18.5	18.5	-25.9	51.9	-3.7	-11.1	11.1	-3.7	0.0
窯業・土石製品	-41.2	-16.1	-32.0	45.0	-1.5	-15.2	-23.7	-15.2	-3.8
鉄 鋼・金 属	-16.9	8.1	-14.7	27.9	-2.2	-8.8	-0.8	-9.5	0.0
一 般 機 器	-15.3	20.5	-17.4	21.4	-1.0	-8.2	-5.1	-6.1	2.0
電 気 機 器	0.0	33.3	7.4	29.6	3.7	0.0	11.1	-3.7	3.7
輸 送 機 器	-10.2	7.7	-5.1	10.2	2.5	-7.7	7.7	-7.6	-7.7
その他の製造業	-32.6	-20.4	-36.8	18.4	-10.2	-22.5	-24.5	-10.2	-20.4

(非製造業)

業 種 名	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	設備操業度	雇用人員	在庫数量
卸 売 業	-29.2	13.7	-21.7	40.4	-15.7	-16.7		-8.1	2.5
小 売 業	-40.0	-24.7	-41.9	27.6	-27.0	-26.6		-14.3	-17.2
商 店 街	-31.2	-14.4	-33.8	37.5	-19.4	-20.0		-10.0	-15.0
サ ー ビ ス 業	-19.3	-5.4	-23.9	28.3	-13.6	-12.5		-6.4	
建 設 業	-37.0	-19.5	-34.0	28.9	-20.0	-17.4		-12.3	
運 輸 業	-39.4	-18.2	-35.7	16.7	-6.8	-16.6		-17.4	
その他の非製造業	-25.0	0.0	-9.4	28.1	-3.2	-9.3		-3.2	

表6. 主要指標の業種別景況調査総括表(前年同月比)

(令和 8年 6月 末現在)

(単位:%)

項 目	業界の景況			売上高			収益状況			販売価格			取引条件			資金繰り			設備操業度			雇用人員			在庫数量		
業 種	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	減少
全 体	4.4	58.4	37.2	22.3	45.4	32.3	7.9	52.8	39.3	35.9	58.2	5.9	3.2	80.8	16.0	2.6	77.6	19.8	8.6	70.4	21.0	3.3	82.2	14.6	10.9	72.1	17.0
製 造 業	5.3	55.9	38.9	23.7	44.9	31.4	8.7	51.3	39.9	34.3	61.5	4.2	4.6	84.4	11.0	3.6	77.2	19.2	8.6	70.4	21.0	4.0	80.3	15.8	10.7	75.5	13.8
非 製 造 業	3.8	60.3	35.9	21.3	45.8	32.9	7.4	53.8	38.8	37.2	55.6	7.2	2.2	78.1	19.7	1.9	77.8	20.3	0.0	0.0	0.0	2.8	83.6	13.7	11.1	67.0	21.9

(製造業)

項 目	業界の景況			売上高			収益状況			販売価格			取引条件			資金繰り			設備操業度			雇用人員			在庫数量		
業 種	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	減少
食 料 品	2.0	57.4	40.6	18.8	48.5	32.7	4.5	48.5	47.0	42.1	55.4	2.5	2.5	84.7	12.9	1.5	76.2	22.3	2.5	84.2	13.4	2.5	84.7	12.9	13.4	76.2	10.4
繊 維 工 業	2.8	51.9	45.4	13.0	54.6	32.4	3.7	50.0	46.3	26.9	66.7	6.5	3.7	78.7	17.6	2.8	72.2	25.0	6.5	73.1	20.4	2.8	79.6	17.6	5.6	76.9	17.6
木 材・木 製 品	2.7	45.1	52.2	17.7	38.1	44.2	7.1	48.7	44.2	25.7	66.4	8.0	2.7	85.0	12.4	0.0	80.5	19.5	5.3	71.7	23.0	3.5	81.4	15.0	15.9	66.4	17.7
紙・紙加工品	0.0	40.9	59.1	31.8	22.7	45.5	13.6	45.5	40.9	59.1	40.9	0.0	13.6	68.2	18.2	13.6	72.7	13.6	13.6	45.5	40.9	0.0	77.3	22.7	13.6	54.5	31.8
印 刷	3.5	42.1	54.4	8.8	49.1	42.1	0.0	45.6	54.4	35.1	57.9	7.0	5.3	77.2	17.5	0.0	77.2	22.8	1.8	57.9	40.4	1.8	70.2	28.1	5.3	84.2	10.5
化 学・ゴ ム	7.4	66.7	25.9	40.7	37.0	22.2	11.1	51.9	37.0	51.9	48.1	0.0	7.4	81.5	11.1	3.7	81.5	14.8	25.9	59.3	14.8	11.1	74.1	14.8	22.2	55.6	22.2
窯業・土石製品	1.5	55.7	42.7	22.1	39.7	38.2	6.9	54.2	38.9	45.8	53.4	0.8	3.1	92.4	4.6	3.1	78.6	18.3	5.3	65.6	29.0	0.8	83.2	16.0	6.9	82.4	10.7
鉄 鋼・金 属	11.0	61.0	27.9	30.9	46.3	22.8	14.7	55.9	29.4	33.8	60.3	5.9	6.6	84.6	8.8	5.9	79.4	14.7	15.4	68.4	16.2	5.9	78.7	15.4	7.4	85.3	7.4
一 般 機 器	11.2	62.2	26.5	37.8	44.9	17.3	15.3	52.0	32.7	25.5	70.4	4.1	4.1	90.8	5.1	7.1	77.6	15.3	14.3	66.3	19.4	5.1	83.7	11.2	15.3	71.4	13.3
電 気 機 器	22.2	55.6	22.2	44.4	44.4	11.1	29.6	48.1	22.2	29.6	70.4	0.0	7.4	88.9	3.7	14.8	70.4	14.8	25.9	59.3	14.8	11.1	74.1	14.8	14.8	74.1	11.1
輸 送 機 器	7.7	74.4	17.9	30.8	46.2	23.1	15.4	64.1	20.5	12.8	84.6	2.6	12.8	76.9	10.3	5.1	82.1	12.8	20.5	66.7	12.8	10.3	71.8	17.9	7.7	76.9	15.4
その他の製造業	4.1	59.2	36.7	16.3	46.9	36.7	6.1	51.0	42.9	24.5	69.4	6.1	4.1	81.6	14.3	2.0	73.5	24.5	2.0	71.4	26.5	6.1	77.6	16.3	8.2	63.3	28.6

(非製造業)

項 目	業界の景況			売上高			収益状況			販売価格			取引条件			資金繰り			設備操業度			雇用人員			在庫数量		
業 種	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	減少
卸 売 業	5.6	59.6	34.8	36.4	40.9	22.7	11.6	55.1	33.3	49.0	42.4	8.6	3.5	77.3	19.2	2.0	79.3	18.7				3.0	85.9	11.1	18.2	66.2	15.7
小 売 業	4.2	51.6	44.2	19.8	35.7	44.5	5.8	46.4	47.7	40.9	45.8	13.3	0.6	71.8	27.6	1.0	71.4	27.6				1.3	83.1	15.6	9.4	64.0	26.6
商 店 街	1.9	65.0	33.1	17.5	50.6	31.9	5.6	55.0	39.4	41.3	55.0	3.8	0.6	79.4	20.0	0.6	78.8	20.6				0.0	90.0	10.0	5.6	73.8	20.6
サ ー ビ ス 業	5.0	70.7	24.3	21.4	51.8	26.8	7.5	61.1	31.4	32.9	62.5	4.6	3.2	80.0	16.8	3.2	81.1	15.7				5.4	82.9	11.8			
建 設 業	3.0	57.0	40.0	14.5	51.5	34.0	4.3	57.4	38.3	34.9	59.1	6.0		77.9	20.0	1.3	80.0	18.7				3.4	80.9	15.7			
運 輸 業	2.3	56.1	41.7	19.7	42.4	37.9	9.8	44.7	45.5	21.2	74.2	4.5	3.8	85.6	10.6	2.3	78.8	18.9				2.3	78.0	19.7			
その他の非製造業	0.0	75.0	25.0	15.6	68.8	15.6	15.6	59.4	25.0	28.1	21.36	0.0	3.1	90.6	6.3	6.3	78.1	15.6				3.1	90.6	6.3			

表7. 全国及び各地域別の【業界の景況・売上高・収益状況】(前年同月比)

(令和 8年 6月 末現在)

〔全 国〕

項 目	業界の景況				売上高				収益状況			
	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全 体	4.4	58.4	37.2	-32.8	22.3	45.4	32.3	-10.0	7.9	52.8	39.3	-31.4
製 造 業	5.3	55.9	38.9	-33.6	23.7	44.9	31.4	-7.7	8.7	51.3	39.9	-31.2
非製造業	3.8	60.3	35.9	-32.1	21.3	45.8	32.9	-11.6	7.4	53.8	38.8	-31.4

〔北海道・東北地方〕

北海道, 青森県, 岩手県, 宮城県, 秋田県,
山形県, 福島県

項 目	業界の景況				売上高				収益状況			
	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全 体	2.9	59.7	37.5	-34.6	23.2	44.1	32.7	-9.5	9.2	50.8	40.0	-30.8
製 造 業	2.7	60.0	37.3	-34.6	27.3	40.0	32.7	-5.4	14.5	46.4	39.1	-24.6
非製造業	2.9	59.5	37.6	-34.7	21.0	46.3	32.7	-11.7	6.3	53.2	40.5	-34.2

〔関東・甲信越地方〕

茨城県, 栃木県, 群馬県, 埼玉県, 千葉県,
東京都, 神奈川県, 新潟県, 長野県, 山梨県

項 目	業界の景況				売上高				収益状況			
	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全 体	5.5	60.4	34.1	-28.6	24.4	45.9	29.7	-5.3	9.1	53.1	37.7	-28.6
製 造 業	6.5	57.4	36.1	-29.6	26.6	44.1	29.3	-2.7	9.5	49.8	40.7	-31.2
非製造業	4.8	62.5	32.7	-27.9	22.8	47.2	30.0	-7.2	8.8	55.5	35.7	-26.9

〔東海・北陸地方〕

静岡県, 愛知県, 岐阜県, 三重県, 富山県,
石川県, 福井県

項 目	業界の景況				売上高				収益状況			
	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全 体	5.1	53.6	41.3	-36.2	17.9	49.2	32.8	-14.9	5.4	51.5	43.1	-37.7
製 造 業	6.7	48.7	44.6	-37.9	21.2	51.8	26.9	-5.7	6.7	48.7	44.6	-37.9
非製造業	3.6	58.4	38.1	-34.5	14.7	46.7	38.6	-23.9	4.1	54.3	41.6	-37.5

〔近畿地方〕

滋賀県, 京都府, 奈良県, 大阪府, 兵庫県,
和歌山県

項 目	業界の景況				売上高				収益状況			
	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全 体	3.2	54.8	41.9	-38.7	17.7	46.0	36.3	-18.6	5.2	53.2	41.5	-36.3
製 造 業	2.6	56.4	41.0	-38.4	17.1	46.2	36.8	-19.7	5.1	57.3	37.6	-32.5
非製造業	3.8	53.4	42.7	-38.9	18.3	45.8	35.9	-17.6	5.3	49.6	45.0	-39.7

〔中国地方〕

鳥取県, 島根県, 岡山県, 広島県, 山口県

項 目	業界の景況				売上高				収益状況			
	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全 体	6.3	60.6	33.0	-26.7	35.7	38.0	26.2	9.5	14.5	52.0	33.5	-19.0
製 造 業	8.6	57.1	34.3	-25.7	37.1	38.1	24.8	12.3	17.1	45.7	37.1	-20.0
非製造業	4.3	63.8	31.9	-27.6	34.5	37.9	27.6	6.9	12.1	57.8	30.2	-18.1

〔四国地方〕

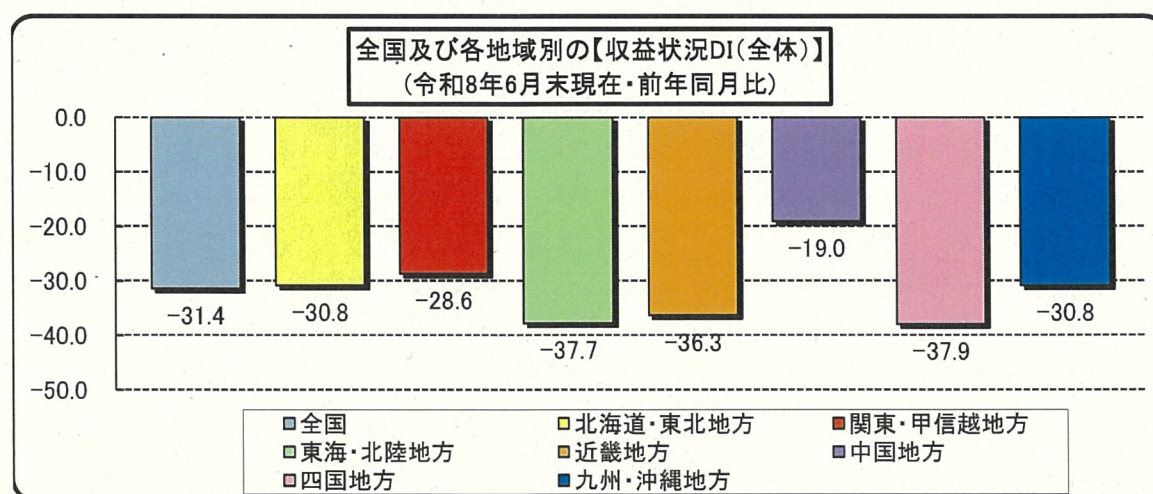
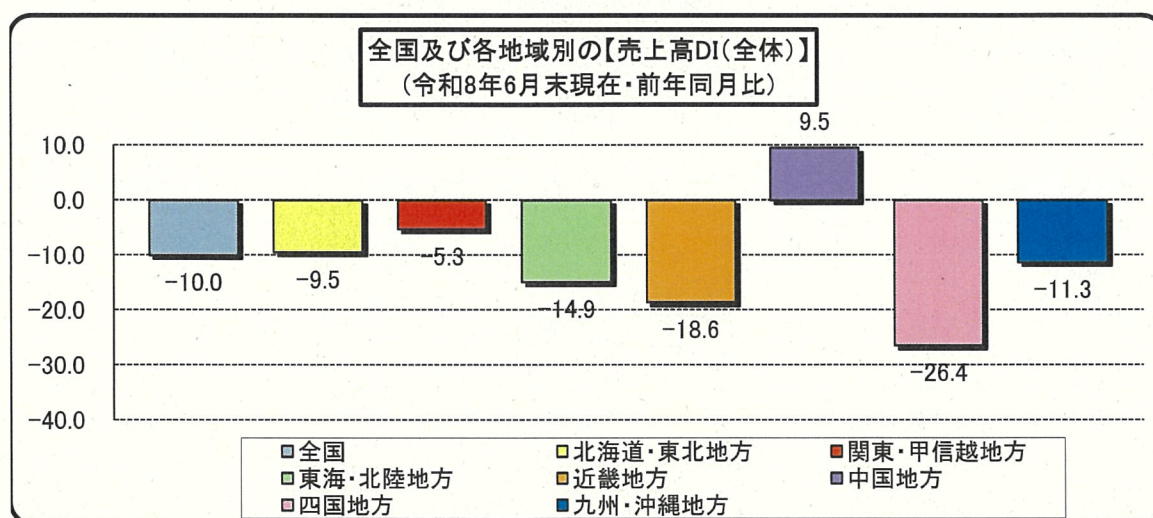
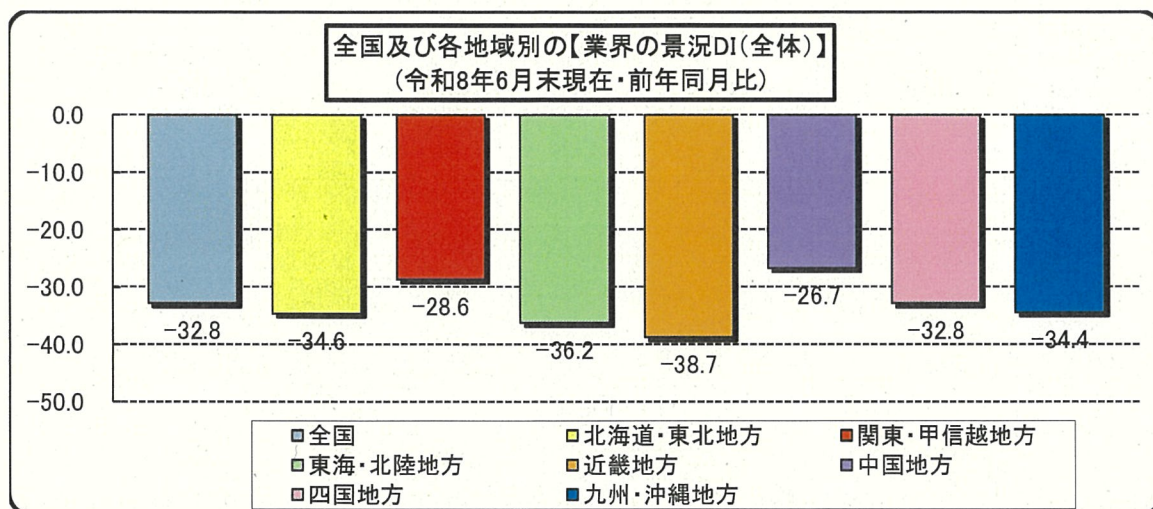
徳島県, 香川県, 愛媛県, 高知県

項 目	業界の景況				売上高				収益状況			
	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全 体	3.4	60.3	36.2	-32.8	14.4	44.8	40.8	-26.4	4.6	52.9	42.5	-37.9
製 造 業	2.6	61.5	35.9	-33.3	9.0	50.0	41.0	-32.0	2.6	59.0	38.5	-35.9
非製造業	4.2	59.4	36.5	-32.3	18.8	40.6	40.6	-21.8	6.3	47.9	45.8	-39.5

〔九州・沖縄地方〕

福岡県, 佐賀県, 長崎県, 熊本県, 大分県,
宮崎県, 鹿児島県, 沖縄県

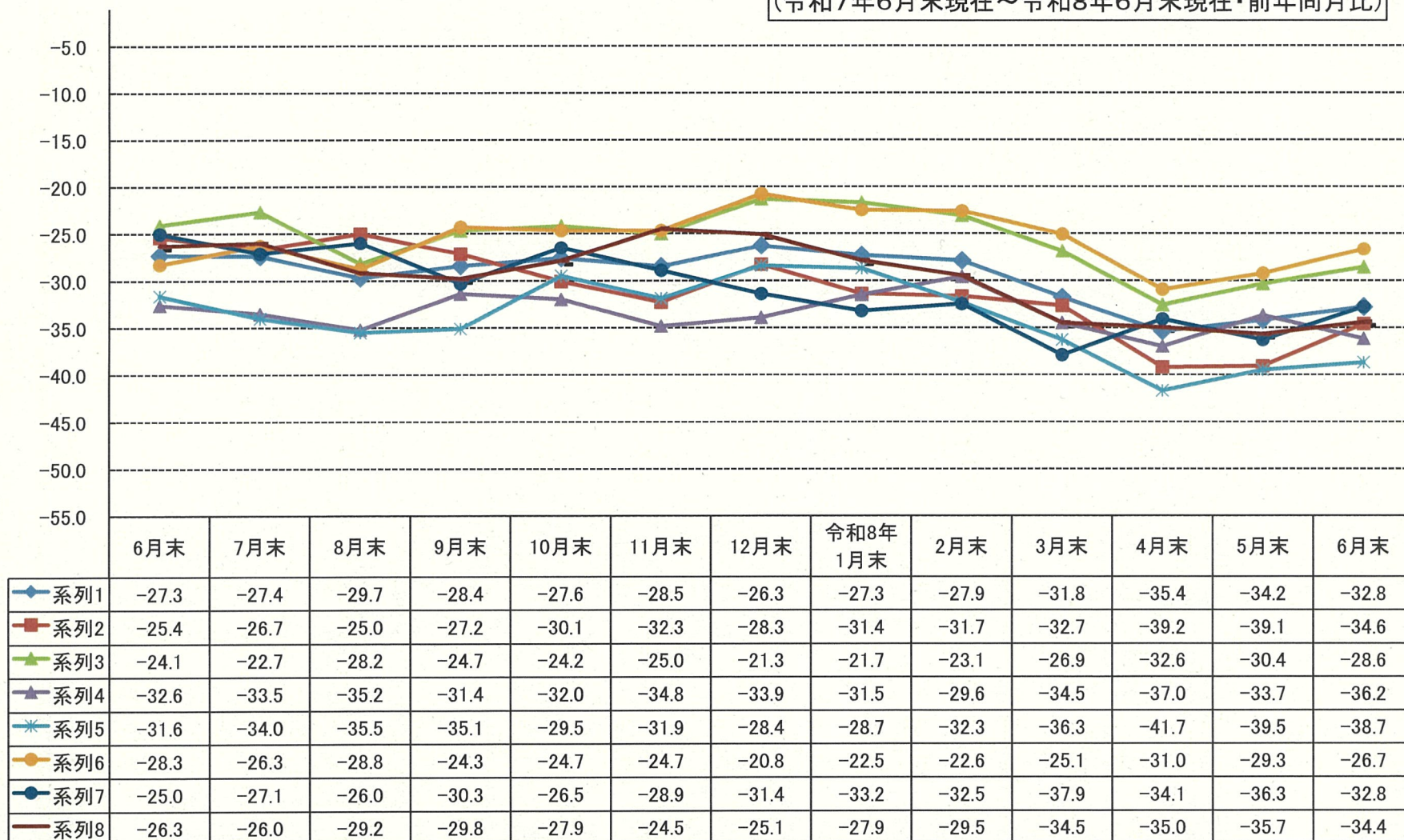
項 目	業界の景況				売上高				収益状況			
	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全 体	3.2	59.2	37.6	-34.4	21.4	45.9	32.7	-11.3	7.0	55.1	37.8	-30.8
製 造 業	4.2	55.2	40.6	-36.4	22.4	42.0	35.7	-13.3	5.6	56.6	37.8	-32.2
非製造業	2.6	61.7	35.7	-33.1	20.7	48.5	30.8	-10.1	7.9	54.2	37.9	-30.0



〔北海道・東北地方〕
〔関東・甲信越地方〕
〔東海・北陸地方〕
〔近畿地方〕
〔中国地方〕
〔四国地方〕
〔九州・沖縄地方〕

北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、長野県、山梨県
静岡県、愛知県、岐阜県、三重県、富山県、石川県、福井県
滋賀県、京都府、奈良県、大阪府、兵庫県、和歌山県
鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
徳島県、香川県、愛媛県、高知県
福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

全国及び各地域別の【業界の景況DI(全体)の推移】
(令和7年6月末現在～令和8年6月末現在・前年同月比)



〔北海道・東北地方(系列2)〕 北海道, 青森県, 岩手県, 宮城県, 秋田県, 山形県, 福島県
 〔関東・甲信越地方(系列3)〕 茨城県, 栃木県, 群馬県, 埼玉県, 千葉県, 東京都, 神奈川県, 新潟県, 長野県, 山梨県
 〔東海・北陸地方(系列4)〕 静岡県, 愛知県, 岐阜県, 三重県, 富山県, 石川県, 福井県
 〔近畿地方(系列5)〕 滋賀県, 京都府, 奈良県, 大阪府, 兵庫県, 和歌山県
 〔中国地方(系列6)〕 鳥取県, 島根県, 岡山県, 広島県, 山口県
 〔四国地方(系列7)〕 徳島県, 香川県, 愛媛県, 高知県
 〔九州・沖縄地方(系列8)〕 福岡県, 佐賀県, 長崎県, 熊本県, 大分県, 宮崎県, 鹿児島県, 沖縄県

※系列1は全国の数値です。